



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日
東

上場会社名 帝国通信工業株式会社 上場取引所
 コード番号 6763 URL <https://www.noble-j.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽生 満寿夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 丸山 睦雄 (TEL) 044-422-3831
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	8,574	△12.2	363	△46.3	402	△46.9	318	46.7
2020年3月期第3四半期	9,765	△3.4	677	△21.7	759	△32.7	216	△72.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 408百万円(△47.2%) 2020年3月期第3四半期 772百万円(170.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	32.33	32.29
2020年3月期第3四半期	22.06	22.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	24,890	21,186	83.5
2020年3月期	24,575	21,202	84.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 20,780百万円 2020年3月期 20,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	11,700	△6.4	400	△35.9	450	△39.9	350	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	10,141,833株	2020年3月期	10,141,833株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	293,272株	2020年3月期	305,358株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	9,841,208株	2020年3月期3Q	9,831,194株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想は現在入手可能な情報及び合理的に判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
製品別販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、第1四半期では新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、各国において都市封鎖等経済活動が抑制され、急激に景気が減速しました。第2四半期に入り、緩やかに経済活動が再開し景気回復の兆しを見せているものの、第3四半期に入り新型コロナウイルス感染症が再拡大をしており、世界経済の先行きは不透明感が継続しております。

米国や欧州では個人消費や企業業績は大幅に悪化しており、アジアでは中国に於いて感染拡大の収束が見え始め、経済活動の回復がみられるものの、個人消費の悪化など極めて先行きは不透明な状況にあります。我が国の経済も新型コロナウイルス感染症の再拡大により企業業績も悪化、個人消費の落ち込みや海外経済悪化の影響を受け、非常に厳しい状況となりました。

当社グループの属するエレクトロニクス業界においては、中国を中心に自動車関連市場が上向いておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響がサプライチェーンにも出始めており、全体では部品の需要が弱含みで推移しました。

このような状況の中、当社グループは、関連事業所においてカーボンニュートラルを念頭に空調設備を導入せず自然外気を取り入れる構造の建物が当四半期末に完成しました。また、省人化、無人化など生産性向上とコストダウンを目的とした設備投資を引き続き推し進めております。一方、在宅勤務、時差出勤など、新型コロナウイルス感染症対策を行うことで感染防止に努め、材料、素材や部品調達からお客様までのサプライチェーンを確保すると共に、固定費の抑制に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は85億74百万円（前年同期比12.2%減）となりました。営業利益は3億63百万円（前年同期比46.3%減）、経常利益は4億2百万円（前年同期比46.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億18百万円（前年同期比46.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①電子部品

当第3四半期においてはゲーム機市場向けは堅調を維持しており、自動車電装向け、生活家電向けが上向いておりますが、新型コロナウイルス感染症の停滞による上半期の落ち込みをカバーできませんでした。

この結果、電子部品の売上高は81億80百万円（前年同期比12.3%減）となり、営業利益は3億38百万円（前年同期比46.3%減）となりました。

当事業の地域別の業績は次のとおりであります。

a. 日本

新型コロナウイルス感染症が再拡大する中、不透明感が強まっていますが、巣ごもり需要が追い風となった生活家電向け部品や、自動車電装向けが、上半期と比べ順調に回復しました。

しかしながら、上期の新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、売上高は45億51百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は1億97百万円（前年同期比34.8%減）となりました。

b. アジア

中国市場が回復してきており、可変抵抗器・エアコン向け固定抵抗器・通信機や液晶画面調整用半固定抵抗器は増加傾向ですが、その他アジア地区に於ける、デジタルカメラ・ビデオカメラ向け操作ブロックなどは落ち込みました。

この結果、売上高は34億77百万円（前年同期比22.1%減）、営業利益は1億39百万円（前年同期比58.3%減）となりました。

c. 北米

自動車電装向けが在庫調整の影響から低調でした。

この結果、売上高は1億52百万円（前年同期比9.7%減）、営業利益は0百万円（前年同期は2百万円の営業損失）となりました。

②その他

企業の設備投資の落ち込みが影響し、その他事業の売上高は3億93百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益は6百万円（前年同期比77.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産が前連結会計年度末に比べ3億15百万円増加し248億90百万円となりました。その内訳は、流動資産が3億90百万円減少し153億42百万円、固定資産が7億5百万円増加し95億48百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ3億30百万円増加し37億4百万円となりました。その内訳は、流動負債が2億22百万円増加し23億18百万円、固定負債が1億8百万円増加し13億86百万円となりました。

これらの結果、純資産は前連結会計年度末に比べ15百万円減少し211億86百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の84.5%から83.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想および配当予想につきましては、2020年8月4日に公表しました予想を修正致しました。詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2021年3月期の下半期の世界経済予測は、新型コロナウイルス感染症が再拡大をしており、日本においても緊急事態宣言が再発令される等、先行きは引き続き非常に不透明な状況にあります。当社グループの属するエレクトロニクス業界では、自動車向け市場、ゲーム関連市場を中心に緩やかに回復すると予測しておりますが、予断を許さない状況であります。そのような中、当社グループは生産性向上と新規市場開拓など経営効率化を引き続き推し進めており業績回復に努めてまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、2020年8月4日に公表した業績予想の特に利益面で想定を上回る実績となりましたので、通期の業績予想の修正を行います。なお、連結業績予想（通期）の前提となる為替レートは1US\$=104円としております。

上記の業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因の変動により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,214,055	8,869,508
受取手形及び売掛金	2,342,902	3,267,938
電子記録債権	589,506	622,187
商品及び製品	1,151,783	1,100,077
仕掛品	562,139	528,163
原材料及び貯蔵品	589,052	613,707
その他	286,705	347,398
貸倒引当金	△3,276	△6,450
流動資産合計	15,732,870	15,342,533
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,526,998	1,432,543
機械装置及び運搬具（純額）	1,237,509	1,164,289
その他（純額）	1,094,242	1,494,467
有形固定資産合計	3,858,750	4,091,300
無形固定資産	70,837	75,342
投資その他の資産		
投資有価証券	1,896,774	2,429,368
退職給付に係る資産	2,465,177	2,442,727
その他	556,295	514,508
貸倒引当金	△4,848	△4,848
投資その他の資産合計	4,913,399	5,381,756
固定資産合計	8,842,987	9,548,399
資産合計	24,575,857	24,890,932
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	604,218	585,529
電子記録債務	427,224	457,975
短期借入金	49,887	41,690
未払法人税等	66,328	59,008
賞与引当金	329,018	236,867
役員賞与引当金	5,000	—
その他	614,165	937,081
流動負債合計	2,095,843	2,318,152
固定負債		
退職給付に係る負債	119,141	142,026
その他	1,158,616	1,244,136
固定負債合計	1,277,758	1,386,162
負債合計	3,373,602	3,704,315

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,453,078	3,453,078
資本剰余金	5,456,313	5,456,313
利益剰余金	12,019,692	11,926,589
自己株式	△745,460	△715,081
株主資本合計	20,183,623	20,120,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	401,734	796,133
為替換算調整勘定	△94,782	△352,703
退職給付に係る調整累計額	273,676	216,649
その他の包括利益累計額合計	580,628	660,079
新株予約権	11,637	7,768
非支配株主持分	426,366	397,869
純資産合計	21,202,255	21,186,617
負債純資産合計	24,575,857	24,890,932

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	9,765,407	8,574,563
売上原価	6,599,311	5,853,611
売上総利益	3,166,096	2,720,951
販売費及び一般管理費	2,488,982	2,357,257
営業利益	677,113	363,694
営業外収益		
受取利息	41,566	32,702
受取配当金	73,507	51,384
受取賃貸料	49,308	42,303
助成金収入	6,953	36,935
その他	31,989	24,107
営業外収益合計	203,326	187,433
営業外費用		
支払利息	3,319	1,633
固定資産賃貸費用	23,665	20,267
為替差損	46,714	115,986
その他	47,713	10,433
営業外費用合計	121,412	148,321
経常利益	759,027	402,806
特別利益		
固定資産売却益	161,036	—
特別利益合計	161,036	—
特別損失		
関係会社清算損	463,783	—
特別損失合計	463,783	—
税金等調整前四半期純利益	456,280	402,806
法人税等	213,147	82,997
四半期純利益	243,132	319,808
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,304	1,624
親会社株主に帰属する四半期純利益	216,828	318,184

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	243,132	319,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	200,907	395,223
為替換算調整勘定	430,308	△249,230
退職給付に係る調整額	△101,407	△57,583
その他の包括利益合計	529,808	88,409
四半期包括利益	772,941	408,218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	743,328	397,635
非支配株主に係る四半期包括利益	29,613	10,582

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	9,328,480	436,927	9,765,407	—	9,765,407
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,307	237,218	241,525	△241,525	—
計	9,332,787	674,146	10,006,933	△241,525	9,765,407
セグメント利益	631,059	30,043	661,102	16,011	677,113

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	4,697,248	4,462,655	168,575	9,328,480	—	9,328,480
地域間の内部売上高 又は振替高	3,311,165	2,782,184	—	6,093,350	△6,089,042	4,307
計	8,008,414	7,244,840	168,575	15,421,830	△6,089,042	9,332,787
地域別利益又は損失(△)	302,457	334,551	△2,083	634,925	△3,866	631,059

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 3
	電子部品 (千円) (注) 1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	8,180,633	393,929	8,574,563	—	8,574,563
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,842	275,164	279,006	△279,006	—
計	8,184,475	669,093	8,853,569	△279,006	8,574,563
セグメント利益	338,824	6,633	345,458	18,236	363,694

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	4,551,009	3,477,320	152,302	8,180,633	—	8,180,633
地域間の内部売上高 又は振替高	3,087,064	2,304,370	—	5,391,435	△5,387,593	3,842
計	7,638,074	5,781,691	152,302	13,572,068	△5,387,593	8,184,475
地域別利益	197,210	139,545	496	337,251	1,572	338,824

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

製品別販売実績

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		前年同四半期比 (%)
	金額	構成比	金額	構成比	
電子部品		%		%	
前面操作ブロック (千円)	3,301,680	33.8	2,519,570	29.4	76.3
可変抵抗器 (千円)	1,584,185	16.2	1,369,059	16.0	86.4
固定抵抗器 (千円)	1,484,729	15.2	1,272,653	14.8	85.7
その他 (千円)	2,957,885	30.3	3,019,350	35.2	102.1
小計 (千円)	9,328,480	95.5	8,180,633	95.4	87.7
その他					
その他 (千円)	436,927	4.5	393,929	4.6	90.2
小計 (千円)	436,927	4.5	393,929	4.6	90.2
合計 (千円)	9,765,407	100.0	8,574,563	100.0	87.8